

# 都市のコミュニティ

## イーと景観

4月16日、東京自治研究センターの月例フォーラムに参加しました。

テーマは、「都市のコミュニティと景観」講師は松本昭氏（市民未来まちづくり代表取締役）

松本氏は、鎌倉市や国分寺市でまちづくりを実践され、国分寺市では全国的に評価の高い「まちづくり条例」の策定に関わられた方です。

内容は、景観法施行以降の景観行政の課題について、特に都市のコミュニティの課題と関連づけてお話しされたことが興味深く感じました。

それぞれの自治体には、その街特有の歴史や文化に基づく景観が

あります。

中でも、①全国ではじめて市全域を景観法に基づく景観地区に指定した芦屋市 ②土地取引と連動した開発事業の協議を市民と調整する府中市まちづくり条例 ③茨城県桜川市の真壁 ④新潟県村上市の黒塀プロジェクトなど、事例豊富に景観行政についてわかりやすくお話しいただきました。

現在の多くの自治体は、建築基準法に基づいた、いかに土地に高い価値をつけようかとする開発優先の敷地主義であり、これでは、美しい都市はできないと言う。また、そうしたまちづくりが、そこに住む市民の社会的孤立度をも高めてしまうそうです。

根本的には、「景観法を生かすも殺すも市民と行政の志である」と言われるように、どのような町

上富の竹林にも筍が顔を出し始めました。上富の農家の屋敷林には、竹、けやき、杉、ひのき、榎などが植えられ、防風の役割を果たしてきました。それぞれ目的をもって植栽されています。竹は、しっかりと根

が張り地震に強いこと、農具や竹力ゴなど竹細工の材料に使われてきました。そして、上富に春を告げる味覚でもあります。

しかし、開発で農家の竹林も減ってしまいました。自家用で消費している農家もありますが、今回は、直売している農家を紹介させていただきます。

また、こだわりのトマト作りをしている「トマトの高橋園」もトマトの旬を迎えています。品種は桃太郎、1袋300円。2月から6月末頃まで。

# ★富の味覚 筍・トマト★



①早川光男さん



②武田直章さん



③武田信太郎さん



④高橋和人さん

高橋和人

上富 330

電話 258・2029

①早川園 電話 258・0759

住所 上富 1425

②武直園 電話 258・4536

住所 上富 256

③むさし野自然農場

電話 258・3441

住所 上富 287



全国で初めて市域全域を都市計画法、景観法に基づく景観地区に指定した芦屋市



松本 昭氏

を作るかというビジョンの有無とそれを創ろうとする情熱に帰結するのかもしれない。いずれにせよ多くの示唆を得ることができた。今後の三芳町のまちづくりに参考にしていきたいと思えます。